教科の持つイメージカラーについての調査

目次

第1章　序論
第1節　問題関心
第2節　研究の目的

第2章　予備調査（質問紙）
第1節　目的
第2節　方法
第3節　結果
第4節　考察

第3章　本調査（質問紙）
第1節　目的
第2節　方法
第3節　結果
第4節　考察

第4章　全体的考察
第1節　教科のもつカラーイメージ
第2節　本研究の課題

第5章　引用・参考文献

付録1　予備調査質問紙
付録2　本調査依頼文　　令和元年8月23日
付録3　本調査質問紙（中学生）

目的

- 諸説存在する「各教科のイメージカラー」とその理由について探る
- カラーと「得意」「不得意」「好き」「嫌い」の4つの感情の間に関係性が見られるのかどうか探る
- 上記の2つに性差と年齢差がみられるのかどうか探る

調査概要

【調査期間】 2019年8月23日～10月下旬

【対象者】　京都府宇治市立宇治中学校1年生

（有効回答数：189人、男性：83人、女性：91人、無回答：15人）

大学生・大学院生

（有効回答数：283人、男性：79人、女性：202人、その他：2人）

【調査方法】 質問紙調査

【質問紙の構成】

色：赤、オレンジ、黄、緑、青、紫、茶、白、黒

教科：国語、数学、理科、社会、英語、音楽、美術、保健体育、技術家庭

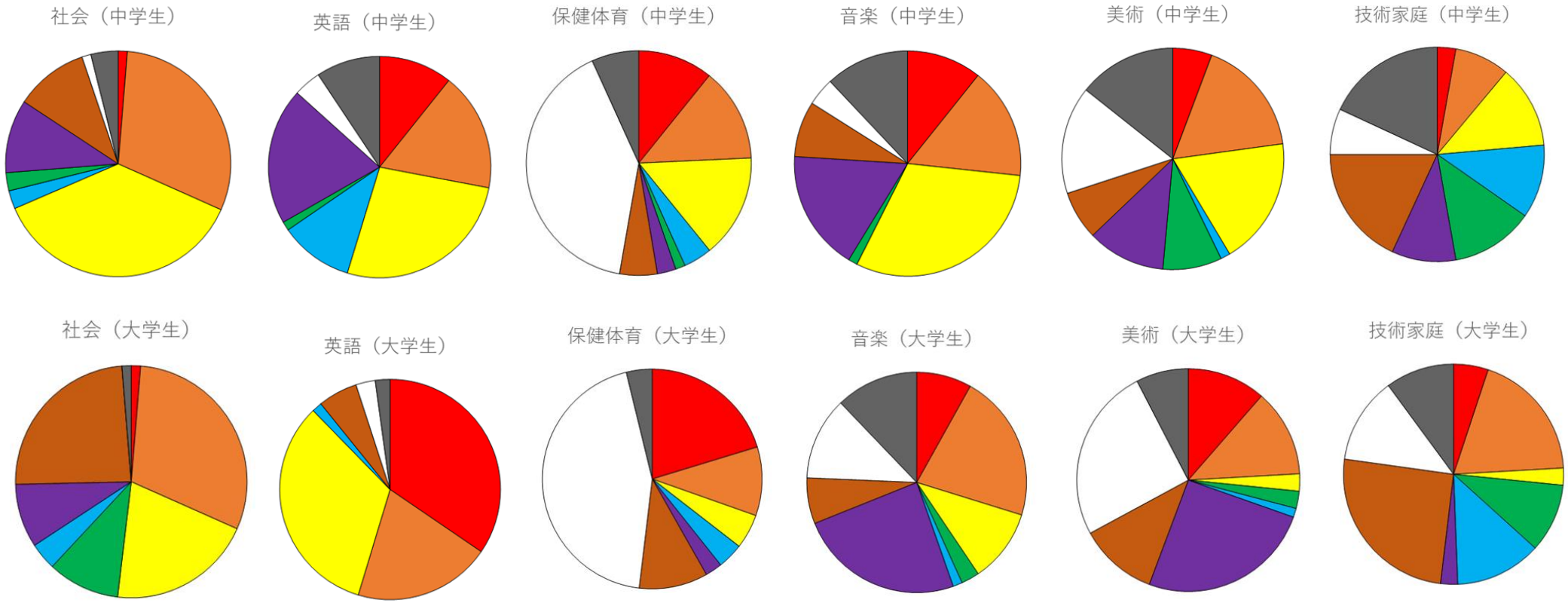
・属性に関する項目
・得意/不得意の感情に関する項目
・好き/嫌いの感情に関する項目
・イメージカラーに関する項目
・好きな色に関する項目

当初の予想

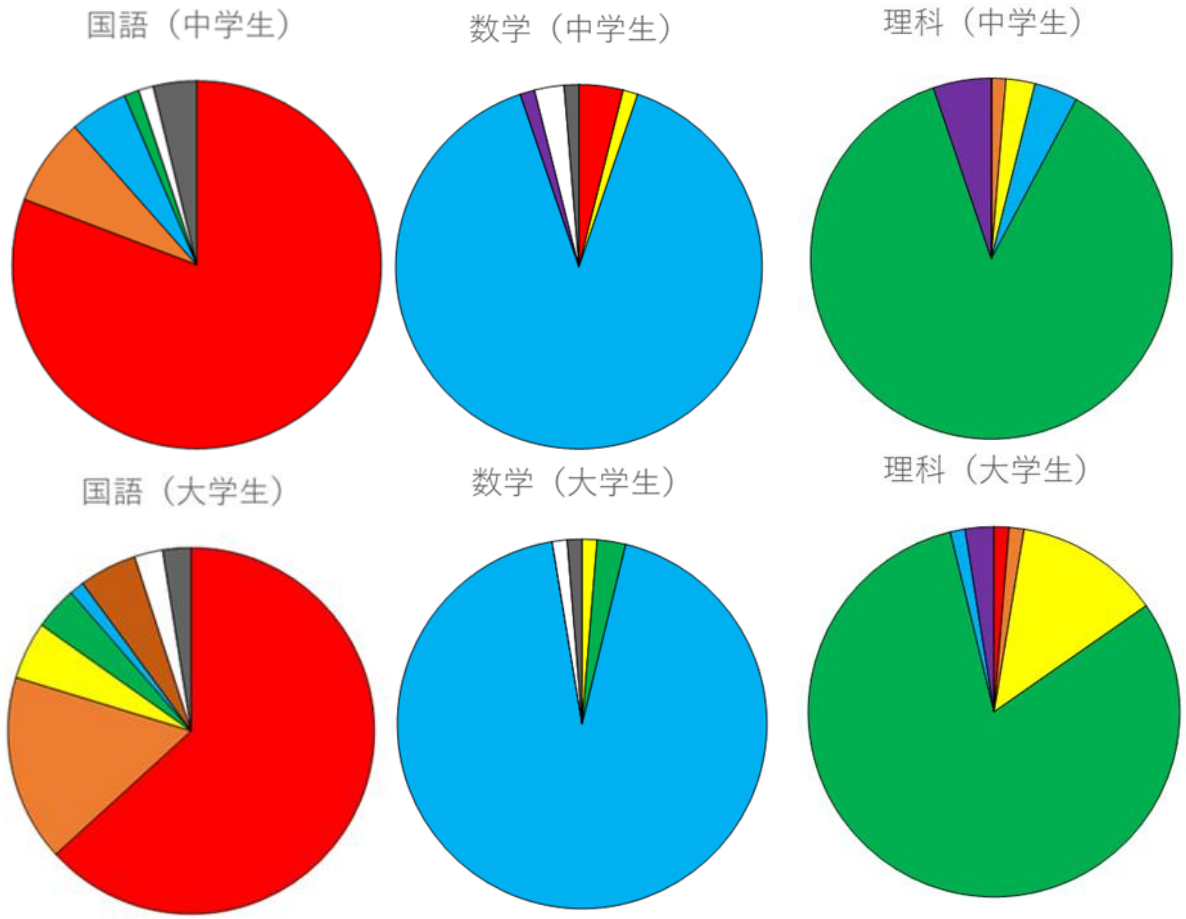
- 国語、数学、理科　　…イメージカラーの分散が小さい
  国語→赤、数学→青、理科→緑
  その他6教科　　…分散が大きい

- 得意/不得意の感情　　…外的動機づけが要因となる
  好き/嫌いの感情　　…内的動機づけが要因となる

結果1　イメージカラーについて



結果1　イメージカラーについて



国語：赤、数学：青、理科：緑
→分散が小さい

社会、英語、音楽美術、技術家庭、保健体育
→分散が大きい

結果1　イメージカラーについて

【理由】

「過去に使用していた教材の色」

→国語、数学、理科、社会、英語

「学習で扱う器具や対象の色」

→音楽、美術、技術家庭、保健体育

結果2　得意や好きの感情について

年齢差・性差ともにみられた。

		中学生	大学生
得意である	男＜女	国語・音楽・美術	国語・音楽・美術・技術家庭
	女＜男	数学・理科	社会・保健体育
好きである	男＜女	国語・音楽・美術	国語・音楽・美術・技術家庭
	女＜男	数学・理科	社会・保健体育

考察

- 教科のイメージカラーの固定化には、以下の3つが関連する

期間の長さ　頻度　所属集団

- 感情とイメージカラーの間の関連性は認められない

- 得意や好きの感情は年齢により変化する
  →年齢差が大きくなるほど変化の度合いも大きい

ご清聴ありがとうございました